

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	宮崎 元良
	全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4132 し尿処理施設運営事業											
所 属	140100 環境部・生活環境課											
施 策	03011300 環境衛生施設の整備											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	080000 し尿処理施設運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
須高行政事務組合で運営するし尿処理施設（須高衛生センター）の維持管理費用を負担する。						前処理・希釈下水道放流施設の効率的な運用を図りつつ、計画的に機器整備をして機能維持を図る。機器設備の保守管理、受入し尿等の性状に対応した下水道放流基準を満たす希釈量の管理をする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
	し尿等搬入量減少に対応するため、公共下水道放流方式に切り換え、し尿及び浄化槽汚泥の処理について適正に処理された。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
し尿及び浄化槽汚泥の処理について適正に処理された。	し尿及び浄化槽汚泥の処理について適正に処理された。休止している焼却設備等を解体するための事前調査を実施した。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
し尿及び浄化槽の適正な処理を行なうとともに、焼却設備等を解体撤去し、災害時の非難場所及び備蓄倉庫を整備した。	し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理する。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		529,212	66,568
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	462,900	0
	その他	2,871	305
一般財源		63,441	66,263
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		10.1	1.3
総額		529,212.0	66,568.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	529,212	須高行政事務組合清掃負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	66,568	須高行政事務組合清掃負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	下水道普及による収集量減少に伴い、将来的な施設運営について検討が必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	下水道普及による収集量減少に伴い、将来的な施設運営について検討が必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

公共下水道放流方式に切り替えたことにより、休止している焼却設備等を解体撤去し、災害時の避難場所及び備蓄倉庫を整備した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
須高行政事務組合のあり方について、構成市町村で引き続き研究を進める。		収集量の減少に伴い、下水道への直接投入など、合理化を図りながら今日に至っている。事業を継続しつつ、更なる合理化の研究を進める必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	